

1989 年バブル経済期に元号が平成に変わり、2008 年にリーマンショックにより守りの長い年月が経ちました。今までは夕張市の破たんがありましたように、市町村は守りの町政を強いられてきました。

医療福祉、年金など社会保障制度にはほころびがめだち、老後への不安は膨らんでいく。長寿社会を豊かに生きるために、自治体では地域住民を支える新しい模索も始まっています。

これからは『地方創生』が国の重要な政策として掲げられる中で、**守りから攻めの町政**が求められています。

宮原順は若さと行動力を武器に『**子供に未来を、若者に夢を、中高年に活力を、お年寄りに生きがい**を』合言葉に**笑顔あふれる町づくり**に積極果敢に挑戦する決意をいたしました。

今までの町政のよい所は継承し、活気ある町政運営に大きく変換していきます。

